

論文以外のコンテンツ

雑誌名	東洋大学文学部紀要．史学科篇
巻	43
発行年	2017
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00009909/



ISSN 0385 - 9495

東洋大学文学部紀要

第 71 集

史 学 科 篇

第 43 号

東 洋 大 学

2017

東洋大学文学部紀要
第71集
史学科篇
第43号

東
洋
大
学

Bulletin of Toyo University

No. 71

Department of History

Faculty of Literature

No. 43

2 0 1 7

Contents

Articles

- Minamoto no Yorichika and his descendants Yamato Genji MORI, KIMIYUKI (1)
- Fertilizer tradings of Awa area in Tokugawa Period SHIRAKAWABE, TATSUO (47)
- The description of Takahashi Deisyu's letters in Murayama Families documents
..... IWASHITA, TETSUNORI (77)
- The Import of Rice from Burma, French Indo-China and Thai into Japan
before and after The Rice Riot (1918). OMAMEUDA, MINORU (123)
- Supplement to the Copy of *Xingzheng Gangmu* (A Scheme of Administrative
Reform by Qing Government) with Japanese Translation CHIBA, MASASHI (195)
- The Speeches of Isaeus (1)
..... TAKABATAKE, SUMIO (215)
- Research Trends: Political Culture in Medieval France SUZUKI, MICHIO (318)

Miscellanea (319)

Published by

Toyo University

Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

東洋大学文学部紀要

第71集

史学科篇

第43号



東洋大学

目次

論文

源頼親と大和源氏の生成	森 公章	(二)
近世阿波における肥料取引の諸相	白川部 達夫	(四七)
史料紹介 村山家文書の高橋泥舟関係書簡について(上)	岩 下 哲 典	(七七)
米騒動前後の外米輸入と産地	大豆生田 稔	(一二三)
清末行政綱目訳註補遺	千 葉 正 史	(一九五)
イサイオス弁論集(1)	高 畠 純 夫	(二一五)
中世の政治文化をめぐって―中世フランス政治史研究の現状―	鈴 木 道 也	(三一八) (1)
彙報		(三一九)

◎研究室の動き

○人事

二〇一七年四月一日付

・平成二十九年文学部文学研究科史学専攻長に補される

大豆生田 稔

・平成二十九年文学部史学科学科長に補される 千葉 正史

・文学部教授(史学科)に補される 村田 奈々子

・文学部准教授(史学科)に補される 後藤 はる美

二〇一七年三月三十一日付

・平成二十八年文学部文学研究科史学専攻長を退任する

大豆生田 稔

・平成二十八年文学部史学科学科長を退任する 鈴木 道也

○史学科調査実習

・二〇一七年四月十六日 史学科の学部生を対象とした実習を行いました。

国立歴史民俗博物館(佐倉市)

専任教員活動報告

森 公 章 教授

研究活動

○論文

・「伊賀国における在庁官人の動向と平氏の進出」 単著
二〇一七年三月十五日(昨年度未掲載) 『東洋文学大学院

紀要』五三集(三一九〜三四二頁)

・「交流の道」 単著 二〇一七年六月三〇日

『日本古代交流史入門』(勉誠出版)(三六六〜三七七頁)

・「郡的世界」と郡家の機構」 単著 二〇一七年八月二〇日

『古代東国の地方官衙と寺院』(山川出版社)(五七〜六八頁)

・「僧侶たちの国際交流」 単著 二〇一八年一月一五日

『古代日本と興亡の東アジア』(竹林舎)(四五二〜四七八頁)

・「伊勢平氏と日宋貿易」 単著 二〇一八年一月二七日 『日

本古代史の方法と意義』(勉誠出版)(五八二〜六〇七頁)

・「源頼親と大和源氏の生成」 単著 二〇一八年二月二八日

『東洋文学部紀要』史学科篇四三号(一〜四六頁)

○その他

・「書評」磐下徹『日本古代の郡司と天皇』 単著

二〇一七年九月三〇日 『古代文化』六九の二(一四八〜一四九頁)

・「古代出雲国と「郡的世界」の実像」 単著 二〇一七年八月

一日 『山陰新報』

・「武蔵国足立郡の古代豪族と氷川神社」 単著 二〇一七年九

月三〇日 『氷川神社―大いなる宮居の歴史―』(さいたま市

立博物館)(五九〜六四頁)

・「書評と紹介 鈴木靖民・荒木敏夫・川尻秋生編『日本古代

の道路と景観 駅家・官衙・寺』 単著 二〇一八年二月一

日 『日本歴史』八三七号(九三〜九五頁)

○調査活動

- ・科学研究補助金基盤研究C

「郡的世界」から国衙の支配への歴史の変遷に関する基礎的研究（研究代表者）

学会活動

白山史学会、木簡学会、史学会、日本歴史学会、日本史研究会、大阪歴史学会、続日本紀研究会、正倉院文書研究会、条里制・古代都市研究会、高知海南史学会、朝鮮史研究会

教育活動

・学内 歴史の諸問題A1、歴史の諸問題B1、歴史学研究法A、歴史学研究法B、日本史史料研究①A、日本史史料研究①B、日本史学卒論演習①（学部）、日本史学特論I、日本史学演習I、日本史学特殊研究I、日本史学研究指導I（大学院）

社会的活動

・練馬区文化財審議委員
・大宰府史跡調査研究指導委員会委員
・文部科学省教科用図書検定調査審議会臨時委員
・大学評価・学位授与機構学位審査会歴史部会専門委員
・国立歴史民俗博物館総合展示第一室リニューアル委員会委員
・府中市史編纂委員

・日本歴史学会理事・評議員

- ・「日本側から見た阿倍仲麻呂及び遣唐使」 単著 二〇一七年一月四日 NPO法人 歴史の駅シンポジウム「阿倍仲麻呂〜日本と中国のかけはし〜遣唐使」(一〇〜一五頁)
- ・講演「古代出雲国と「郡的世界」の実像」 単著 出雲弥生の森博物館 二〇一七年八月二〇日
- ・講演「日本側から見た阿倍仲麻呂及び遣唐使」 単著 銀座プロッサム中央会館(NPO法人歴史の駅シンポジウム「阿倍仲麻呂〜日本と中国のかけはし〜遣唐使」) 二〇一七年一月四日
- ・講演「武蔵国足立郡の古代豪族と氷川神社」 単著 さいたま市立博物館 二〇一七年一月五日
- ・NHK・BSプレミアム「英雄たちの選択 乙巳の変 蘇我氏はなぜ滅ぼされたのか？」 二〇一七年四月二〇日 コメント(ビデオ) 出演
- ・NHK・BSプレミアム「英雄たちの選択 敗北!白村江の戦い なぜ巨大帝国に挑んだのか？」 二〇一七年六月二十九日 コメント(ビデオ) 出演
- ・インタビュー記事「奈良「古代史の旅」 二〇一七年一月一日『サライ』二九—一一(通巻六三〇号) 五四—五七六〇—六一頁
- ・NHK・BSプレミアム「英雄たちの選択 古代史ミステリー巨大古墳の国際戦略〜半島危機と倭の五王〜敗北!」 二〇一七年一月二四日 コメント(ビデオ) 出演

大学・学部管理・運営活動

- ・ 大学院文学研究科委員
- ・ 出版会運営委員
- ・ 全学カリキュラム委員会委員
- ・ 全学カリキュラム運営小委員会委員
- ・ 文学部カリキュラム検討委員会委員
- ・ 東洋大学井上円了記念博物館館長
- ・ 東洋大学重点研究戦略会議

神田 千里 教授

研究活動

○著書

- ・ 宣教師と『太平記』（シリーズ〈本と日本史〉④） 単著
二〇一七年三月二二日 集英社、一八七頁

○その他

- ・ 特別企画「織田信長像再考」の座談会を終えて 単著
二〇一七年五月三十一日 『白山史学』第五三号、七七～八八頁
- ・ 足利義昭 単著
二〇一七年一〇月一〇日 榎原雅治・清水克行編『室町幕府將軍列伝』（戎光祥出版）、三九三～四一六頁

学会活動

白山史学会（会員）・史学会（同）・日本史研究会（同）・海南

史学会（同）。

教育活動

○歴史学研究法 A・B・日本史史料研究・日本史概説・日本史学卒論演習（以上学部）・日本史学特論・日本史学演習・日本史学研究指導（以上大学院）。歴史学特殊講義三（以上大谷大学文学部・後期集中講義）・仏教文化研究三（以上大谷大学大学院文学研究科・後期集中講義）・慶應義塾大学山本敏夫記念文学部基金講座「宗教と社会」二〇一七年度「キリスト教と寛容——一六・一七世紀の日本——」第一一回「島原の乱における「立ち帰り」」第二二回「在来信仰とキリシタン——「立ち帰り」の背景——」（以上慶應義塾大学文学部）

社会的活動

・ 日本歴史学会理事・評議員
大学・学部管理・運営活動
教職センター運営委員会委員

白川部 達夫 教授

研究活動

○論文

- ・ 「大坂千鶴屋近江屋市兵衛の経営（四・完）」（『東洋大学文学部紀要』七〇集史学科四二号、二〇一七年二月二七日） 単著、五三～七〇頁
- ・ 「享保・元文期の摂津の農業経営と肥料」（『文部科学省科学

研究費補助金・基盤研究C・一般・研究成果報告書) 研究代表者、二〇一七年二月、単著、三二〇五三頁

○その他

・「近世の民衆運動と言継ぎ」〔本郷〕一二六号、吉川弘文館、二〇一六年一月、単著、六〇八頁

・「近世の肥料商と農業経営」(文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C・一般・研究成果報告書) 研究代表者、二〇一七年二月、単著、五三頁

・「江戸時代の古文書の読み方10―村議定」〔書物学〕一〇巻、勉誠社、二〇一七年三月二日、単著、四六〇五三頁

・「関宿と北関東の干鰯流通」(平成二九年度企画展『干鰯は弱いが役に立つ』千葉県立関宿城博物館、二〇一七年一月三日)、単著、六六〇六七頁

・「江戸時代の古文書の読み方11―村方騒動」〔書物学〕一一巻、勉誠社、二〇一七年八月二五日、単著、二四〇三三頁

○研究報告・口頭報告

・「高橋家と文書整理」(人間科学総合研究所共同研究「越後宮川新田高橋家文書の研究」研究会、於東洋大学十号館二〇六教室、二〇一七年六月一七日)

・「明治二十年代の高橋家の資産状況」(人間科学総合研究所共同研究「越後宮川新田高橋家文書の研究」研究会、於東洋大学六号館六二二教室、二〇一七年二月二日)

○調査活動

・文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C・一般「近世後期の肥料商と社会変動」研究代表者

・井上円了記念研究助成・人間科学総合研究所共同研究「越後宮川新田高橋家文書の研究」研究代表者

○学会活動

白山史学会、関東近世史研究会(評議員)、日本古文書学会(評議員)、立正史学会(評議員)、歴史学研究会、日本史研究会、歴史科学協議会、地方史研究協議会(会員)、

○教育活動

○学内

歴史の諸問題、歴史学研究法AB、日本史料研究、日本史学卒論演習③、卒業論文指導、日本史概説、(以上学部) 日本史学特論Ⅲ、日本史学演習Ⅲ、日本史学研究指導Ⅲ(以上大学院)

○学外

中央大学 日本社会経済史、日本史演習 慶應義塾大学 日本史概説Ⅲ 日本史概説Ⅳ

○社会的活動

○講演

・「山崎家文書―名主と村の生活」(於茨城県龍ヶ崎市歴史民俗資料館、二〇一七年二月二六日)

・「江戸幕府の旗本たち」(NPO法人・東京シティガイドクラブ、於文京区センター、二〇一七年八月二日)

・「江戸幕府の旗本たち」(板橋グリーンカレッジOB会、於板橋区立シニア学習クラブ、二〇一七年九月一日)

・「近世の関宿と干鯛・メ粕の流通」(千葉県立関宿城博物館、於同、二〇一七年一〇月二二日)

・「江戸幕府の將軍たち―家康・秀忠・家光」(なかの歴史・文化の会、於中野ゼロ、二〇一七年一月二二日)

・「江戸幕府の旗本たち」(習志野市大久保公民館、於同、二〇一七年一月二四日)

○文化財

国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用委員会委員長(二〇一七年九月七日より)

大学・学部管理・運営活動 なし。

岩 下 哲 典 教授

研究活動

○監修

・『幕末維新の古文書』 二〇一七年七月二五日 柏書房 全三二七頁

○共編

・桃木至朗監修・藤村康夫・岩下哲典編『地域から考える世界史―日本と世界をむすぶ』 二〇一七年一〇月三一日 勉誠出版 全四二九頁

○共著

・岩下哲典ほか『東アジアの秩序を考える』 二〇一七年二月二四日 春風社 全三八四頁

○単著

・『病とむきあう江戸時代』 二〇一七年九月二五日 北樹出版 全二二二頁

・『津山藩』(シリーズ藩物語) 二〇一七年一〇月一〇日 現代書館 全二〇六頁

○論文

・「地域における歴史的観光資源の開発と活用―観光系大学部ゼミナールでの教育実践からの考察」 単著『地域から考える世界史―日本と世界をむすぶ』 二〇一七年一〇月三一日 勉誠出版 一九六頁～二一五頁

・「幕末日本における秩序創出の困難さ―坂本龍馬・赤松小三郎の新国家・新秩序構想と暗殺(秩序創出とテロリズム)をめぐる」 単著 岩下哲典ほか編『東アジアの秩序を考える』 二〇一七年二月二四日 春風社 二九九頁～三三〇頁

○その他

・「幕末の外交と箕作阮甫の役割」 単著 山陽放送学術文化財団編『岡山蘭学の群像』 二〇一七年四月一日 山陽放送学術文化財団
・「研究ノート 豊臣秀吉によって分断された信州」『たのめ

の里』が、ユネスコ世界遺産（複合遺産）になりうる可能性について」単著『Journal of Hospitality and Tourism』Vol.12, No.1 二〇一六年十二月二十五日 一七頁～三五頁

・「調査報告書『明治期等古写真』の調査と目録編成および写真の概要について」単著『東洋大学文学部紀要』史学科

篇第四二号 二〇一七年二月二七日 七一～九二頁

○学会報告

・「坂本龍馬書簡に見る「新国家」について」二〇一七年三月四日（土）国際歴史文化研究会 ルートイン浜松駅東研修室

・「十九世紀東アジア、特に幕末日本における秩序創出の困難さについて—坂本龍馬の「新国家」秩序構想と龍馬暗殺（秩序とテロリズム）をめぐって—」

二〇一七年三月二六日（日）東アジア秩序研究会 東洋大学白山キャンパス六号館六四一〇教室

・「坂本龍馬書簡に見る「新国家」と財政」二〇一七年六月三日（土）日本情報経営学会 第七四回全国大会 東京理科大学

・「政権奉帰後の徳川慶喜と高橋泥舟」二〇一七年九月二三日（土）幕末史研究会九月例会武蔵野商工会議所ビル四階大会議室

・「基調講演 万次郎の実像・私はこう見る」二〇一七年一月一日（土）「ジョン・万サミット」中浜万次郎の会ほか

江東区豊洲文化センター（シンポジウム・基調講演者およびパネラーとして参加）

・「黒船絵巻「金海奇観」とその時代—仙台藩儒者・砲術家大槻磐溪とペリー再来日」

二〇一七年一月一八日（土）横須賀開国史研究会 横須賀ベイサイドポケット

・「高橋九郎と石黒忠恵」二〇一七年二月二日（土）東洋

大学人間科学総合研究所共同研究「越後宮川新田高橋家文書の研究」（研究代表者・白川部達夫教授）研究会 東洋大学白山キャンパス六二二二教室

・「書評 別所興一校注『渡辺崋山書簡集』」二〇一七年二月三日（日）洋学史研究会二月例会 青山学院大学総研ビル九階第一六会議室

・「山岡鉄舟と西郷隆盛 その最大の功績「江戸無血開城」の真実—「鳥羽伏見の戦い」の戦後処理問題、戊辰戦争の変質の画期として—」二〇一七年二月二〇日（水）山岡鉄舟研究会二月例会 東京文化会館四階会議室

・「地域から考える世界史」（勉誠出版）の編集に関わって」二〇一七年二月二三日（土）愛知県世界史教育研究会 愛知大学名古屋校舎（笹島キャンパス）

○調査活動

・岡山県津山洋学資料館所蔵史料調査 二〇一七年三月一六日～三月二一日

・群馬県立歴史博物館 島霞谷関係資料調査 二〇一七年五月一二日

学会活動

・白山史学会（常任委員）、高橋泥舟史料研究会（代表）、洋学史研究会（副会長）、洋学史学会、地方史研究協議会、日本海事学会、日本仏学史学会、名古屋郷土文化会、静岡山岡鉄舟会、日本医史学会、日本情報経営学会

教育活動

○学内「歴史の諸問題A7・B7」「歴史の諸問題A8・B8」「歴史の諸問題A9・B9」「日本史学卒論演習6」「博物館概論」（以上学部）「日本史学特論Ⅳ（ⅣA・ⅣB）」「日本史学特殊研究Ⅳ（ⅣA・ⅣB）」「日本史学研究指導Ⅳ（ⅣA・ⅣB）」「日本史学演習Ⅳ（ⅣA・ⅣB）」（以上大学院）

○学外

・都留文科大「国語国文学と日本史」「歴史と文化」

社会的活動

○講演・講座

・「ペリー来航と幕末情報社会―予告情報と『金海奇観』」
二〇一七年九月二七日（水）出張講座 茨城県龍ヶ崎中央図書館講堂
・「ペリー来航と幕末情報社会―予告情報と『金海奇観』」
二〇一七年一〇月七日（土）出張講座 山形県わくわく新庄研修室

・「磯野計とその時代―江戸時代、西洋食文化へのあこがれ」
二〇一七年一〇月一四日（土）岡山県津山洋学資料館 GENPOホール 上廣歴史文化フォーラム基調講演（シンポジウム・基調講演者およびパネラーとして参加）

○TV出演

・NHK Eテレ『先人たちの底力 知恵泉』『幕末素直のススメ 宇和島藩主・伊達宗城』（二〇一七年七月一日放送）スタジオ出演

・NHK 総合『発掘！お宝ガレリア』『激レア！衝撃ニュースのお宝！』（二〇一七年九月二四日放送）VTR出演

○新聞

・「赤松小三郎 民主制の先駆け 塩尻出身・東洋大教授岩下さん来月論文発表」中日新聞信州版二〇一七年十一月二五日朝刊

・「幕末に普通選挙訴え 民主思想の先駆者赤松小三郎」中日新聞・東京新聞二〇一七年二月一五日夕刊 コメント

大学・学部管理・運営活動

・キャリア委員会委員

大豆生田 稔 教授

研究活動

○著書

・『軍港都市史研究Ⅶ 国内・海外軍港編』、編著、清文堂、

二〇一七年五月、一〇三四四頁、執筆、序章「内外軍港都市の諸相」、一〇七頁、第四章「戦時の軍港都市財政―横須賀市財政の展開」、一四三―一九七頁、コラム「太平洋戦時下の横須賀視察」、一九八―二〇四頁

○その他

・「書評 李海訓著『中国東北における稲作農業の展開過程』」『社会経済史学』八三巻三号、二〇一七年十一月、一一〇―一二二頁

・「明治の風景 農村から都市へ」『写真で綴る「文の京」歴史と文化のまち』文京区、二〇一七年三月、三八―四三頁

○調査研究活動

・日本学術振興会二〇一七年度科学研究費補助金（基盤研究（C）、「戦前日本の外米輸入―米不足の構造と輸入補填（明治初年―戦時の実証的・総合的研究）」、研究代表者

・日本学術振興会二〇一七年度科学研究費補助金（基盤研究（C）、「近代日本勢力圏下の市場統合と情報効率性の時変構造―内地・朝鮮米穀市場を中心に―」、研究分担者

・日本学術振興会二〇一七年度科学研究費補助金（基盤研究（C）、「戦間期における商品取引所の価格形成機能と市場運営―堂島米市場文書による実証研究」、研究分担者

学会活動

・白山史学会（常任委員）、社会経済史学会（評議員）、史学会、歴史学研究会、政治経済学・経済史学会、経営史学会、

首都圏形成史研究会、同時代史研究会、日本農業史学会、日本植民地研究会（会員）

教育活動

○学内 歴史の諸問題A②―産業化の時代（産業と貿易）―、歴史の諸問題B②―産業化の時代（制度の整備）―、日本史料研究A・B④―日本近現代史史料の講読―、日本史学卒論演習⑤―日本近現代史の卒論作成―（以上、学部）、日本史学特論V A・B―日本近現代史の諸問題―、日本史学演習V A・B、日本史学特殊研究V A・B、日本史学研究指導V A・B―日本近現代史研究―（以上、大学院）

○学外 日本史特殊講義演習ⅢA―日本経済史（近現代）の諸問題（第一次世界大戦まで）―、日本史特殊講義演習ⅣA―日本経済史（近現代）の諸問題（第一次世界大戦後）―、（慶応義塾大学文学研究科）

社会的活動

○講演

・「堀田家農事試験場について」（佐倉市民カレッジ 佐倉市の歴史）、佐倉市中央公民館、二〇一七年七月二五日

・「横浜と農業」（関東学院大学×横浜ウォーカー特別公開講座）、KGU関内メディアセンター、二〇一七年二月一日

大学・学部管理・運営活動

大学院文学研究科委員、大学院文学研究科史学専攻・専攻長、

東洋大学人間科学総合研究所運営委員、東洋大学人間科学総合研究所紀要編集委員・編集長

西村陽子 准教授

研究活動

○論文

- ・「デジタル史料批判によるシルクロード遺跡の再発見」共著、第二著者、『科学』八七一—一〇、岩波書店、二〇一七年一〇月、九三四—九三六頁。

- ・「木頭溝の摩尼教Ⅱ仏教寺院・絲綢之路遺址数拠庫の建立と遺址核対的深化」共著、筆頭著者、『馬可波羅と絲綢之路論文集』（印刷中）

○講演

- ・「木頭溝の摩尼教Ⅱ仏教寺院・絲綢之路遺址数拠庫の建立と遺址核対的深化」共著、筆頭著者、復旦大学中古中国研究席明納、二〇一七年二月一日
- ・「華北交通アーカイブの構築の現状」単著、学外大学教授白門会平成二九年度第二回講演会、二〇一七年二月一六日
- ・「西方探險隊と黄文弼地図・其共同性・學術価値」共著、筆頭著者、「北京大学と絲綢之路・中国西北科学考察団九十周年高峰論壇」、二〇一七年二月二四日

○その他（翻訳）

- ・「トルファン文書にみえる漢文文学史料」朱玉麒著、西村陽

子訳、『敦煌・吐魯番文書の世界とその時代』土肥義和・氣賀澤保規編、汲古書院、二〇一七年三月、三一—三七二頁

○調査活動

- ・日本學術振興会・科学研究費補助金若手研究（B）「地図史料批判に基づくシルクロード探險隊資料の統合と遺跡データベースの構築」（研究代表者）

- ・日本學術振興会・科学研究費補助金基盤研究（B）「デジタル史料批判・エビデンスベース人文情報学のための連結指向型研究基盤」（研究分担者）

- ・日本學術振興会・科学研究費補助金基盤研究（B）「古代・中世中央ユーラシア世界の交通・交易・交流」（研究分担者）

○社会貢献活動

- ・春期イクステンション講座「Google Earth で遺跡をさがす—シルクロード探險隊の報告と現状—」（全二回）、二〇一七年六月三日、六月一〇日

学会活動

白山史学会、史学会、東方学会、白東史学会、唐代史研究会、情報処理学会

教育活動

- 「学部」歴史学研究法A・B⑤、地域史（東洋）A・B、東洋史学演習④、東洋史学卒論演習①「大学院」東洋史学特論Ⅰ、東洋史学演習Ⅰ、東洋史学特殊研究Ⅰ、東洋史学研究指導Ⅰ

社会的活動

- ・情報処理学会 ○田研究会 運営委員
- ・人文系データベース協議会 会員
- 大学・学部管理・運営活動

- ・グローバル化推進委員
- ・学生生活委員

千葉 正 史 教授

研究活動

○論文

- ・「清末における各部立案籌備立憲九ヶ年計画」単著、『東洋大学文学部紀要』第七十集史学科篇第四二号、二〇一七年二月二七日、九三～一二四頁。

○学会報告

- ・「林采成著『華北交通の日中戦争史—中国華北における日本帝国の輸送戦とその歴史的意義—』への批評」、鉄道史学会 二〇一七年度第一回例会、駒澤大学、二〇一七年七月一五日。

○その他

- ・「交通運輸」単著、『中国年鑑二〇一七』、一般社団法人中国研究所、二〇一七年五月二六日、三二七～三三〇頁。
- ・「◆特別企画に寄せて 中国史からのコメント」単著、『白山史学』第五三三号、二〇一七年五月三二日、九五～九七頁。
- ・書評「林采成『華北交通の日中戦争史—中国華北における

日本帝国の輸送戦とその歴史的意義—」単著、『鉄道史学』第三五号、二〇一七年一〇月三〇日、八三～八五頁。

学会活動

白山史学会（常任委員）、鉄道史学会（評議員）、メトロポリタン史学会（委員）、史学会、社会経済史学会、東洋史研究会、歴史学会

教育活動

○学内 東洋史学概説A・B、東洋史史料研究A・B②、歴史学研究法A・B⑥、東洋史学卒論演習②、日本史学卒論演習④（以上、学部）

東洋史学特論Ⅱ、東洋史学演習Ⅱ、東洋史学特殊研究Ⅱ、東洋史学研究指導Ⅱ（以上、大学院）

大学・学部管理・運営活動

史学科科学科長、アジア文化研究所運営委員

高 島 純 夫 教授

研究活動

○論文

高島純夫「坂口安吾の仕事とその背景——古代ギリシア史専攻者の見た安吾——」『日本文学文化』一六号、二六～三七頁、二〇一七年二月

○訳・註解

高島純夫「アイネイアス『攻城論』——訳および註解——

(5)『東洋大学文学部紀要 史学科篇』四二号、二四八(1)
—二二(三七)頁、二〇一七年三月

○学会発表

Sumio TAKABATAKE, "A Short History of the Idea of *potheia*," 第十一回日韓中西洋古代史シンポジウム、二〇一七年九月一六日、東京(早稲田大学)

学会活動

白山史学会(常任委員)、史学会(理事〔編集担当〕、大会実行委員)、西洋古典学会、古代世界研究会(委員)

古代世界研究会事務局長として、第十一回日韓中西洋古代史シンポジウム「古代地中海世界における支配と従属再考」を組織運営(二〇一七年九月一四—一七日、於早稲田大学)

史学会大会実行委員として、第一一五回史学会大会公開シンポジウム「二十世紀史のなかのロシア革命」を組織運営、また同大会部会実行委員として西洋史部会を組織運営(二〇一七年十一月一日、一二日、於東京大学)

教育活動

○学内

地域史(西洋)、歴史学研究法、西洋史学史料研究、西洋史学卒論演習①(以上、学部)、西洋史学特論Ⅰ、西洋史学特殊研究Ⅰ、西洋史学研究指導Ⅰ、西洋史学演習Ⅰ、西洋史学研究指導Ⅰ(以上、大学院)

社会的活動

○東洋大学エクステンション講座「坂口安吾と現代」講師 1
回「古代ギリシア史家の見た安吾」

大学・学部管理・運営活動

大学院文学研究科科长

鈴木 道也 教授

研究活動

○論文・研究ノート

・「中世の百科全書とフランス王権」単著 二〇一七年三月
一五日『東洋大学文学部紀要』史学科篇四二号(一九二—一九〇頁)

・「世界史学習に関する岩手大学生の意識調査」共著
二〇一七年三月『岩手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要』第一六号(九三—一〇二頁)

・「高校での世界史履修に関するアンケートのテキストマイニング分析」共著 二〇一七年三月『岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集』第一九号(六七—七三頁)

・「世界史履修に関する学生の意識調査と今後の研究の展望」共著 二〇一七年三月『岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集』第一九号(六三—六六頁)

・"Vincent of Beauvais and Alexander the Great",
Proceedings of The 8th International Conference on the

Medieval Chronicle, pp. 34-39, 2017.

○学会報告

- ・“Vincent of Beauvais and Alexander the Great”, The 8th International Conference on the Medieval Chronicle (University of Lisbon [Portugal], 12 July, 2017.
- ・「中世ヨーロッパの自然観——十三世紀の百科全書から——」国際哲学研究センター研究会 二〇一七年七月二六日（於東洋大学）
- ・「テーマ報告 法を使う・紛争文化 川島翔報告・神野潔報告へのコメント」法文化史学会 二〇一七年十一月一日（於上智大学）

○調査活動

- ・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C））（一般）「中世フランス王国の政治文化 カペー・ヴァロワ両王朝期の知識人とその作品」研究代表者
- ・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（B））（一般）「中世ヨーロッパ世界における統治理念と社会制度の比較的研究」研究分担者
- ・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（B））（一般）「中近世ヨーロッパにおける「正しい認識力」観念の変遷」研究分担者

学会活動

白山史学会、西洋中世学会（常任委員・事務局次長）、西洋史

研究会（理事）、日本西洋史学会、史学会、東北史学会、The Medieval Chronicle Society、日仏歴史学会（幹事）

教育活動

- 学内 史学概論、歴史学研究法A⑧、歴史学研究法B⑧、西洋史料研究A②、西洋史料研究B②、西洋史学卒論演習②（以上、学部）、西洋史学特論ⅡA、西洋史学特論ⅡB、西洋史学演習ⅡA、西洋史学演習ⅡB、西洋史学研究指導ⅡA、西洋史学研究指導ⅡB、西洋史学特殊研究ⅡA、西洋史学特殊研究ⅡB（以上、大学院）

社会的活動

- ・NHK文化センター青山教室講師（中世を旅する——中世ヨーロッパの伝説・旅行記・地図——）
- ・NHK文化センターさいたまアリーナ教室講師（「中世ヨーロッパ世界を読み解く——現代社会の源流を探る——」放送大学埼玉学習センター面接授業講師（「中世ヨーロッパ社会と写本文化」）

大学・学部管理・運営活動

自己点検・評価委員

後 藤 はる美 准教授

研究活動

○共編著

・伊東剛史・後藤はる美編『痛みと感情のイギリス史』（東京

外国語大学出版会、二〇一七年)

○国際セミナー

- ・企画、「[民]と革命——一七世紀イギリス史再考」1

Peoples and Revolutions: Rethinking Seventeenth-Century British History」於東洋大学、二〇一七年十月二十八日

○研究プロジェクト

- ・研究代表者、井上記念研究助成(専任教員個人研究)「近世イングランドにおけるカトリック信仰——對抗宗教改革とブリテン諸島」(二〇一七年度)

- ・研究分担者、科学研究費補助金(基盤A)「歴史的ヨーロッパにおける主権概念の批判的再構築」(研究代表者・古谷大輔〔大阪大学〕、二〇一七～二〇二〇年度)

- ・研究分担者、科学研究費補助金(基盤B)「コスモポリタニズムと秩序形成」(研究代表者・勝田俊輔〔東京大学〕、二〇一四～二〇一七年度)

学会活動

白山史学会、史学会、西洋史学会、都市史学会

教育活動

学内 英語I B⑤⑥⑦、西洋史学史料研究③、西洋史学卒論演習④、西洋史学特論Ⅲ、西洋史学演習Ⅲ

学外 日本女子大学大学院(非常勤講師) 西洋西洋史特殊研究Ⅲ—2(西洋近代史特論)

大学・学部・管理活動

外国語委員、予算委員

村田 奈々子 教授

研究活動

○論文

- ・「ギリシア経済危機と政治変動」、単著、『東洋大学文学部紀要史学科篇』第七十集第四二号(二〇一六年)七三一〇五頁

・“The Memory in a Crisis: A Japanese Ship Helping Out Greek Refugees on the Quay of Smyrna in 1922, Mediterranean World 23 (2017), pp. 135-146.

- ・「ギリシアのヨーロッパ」『学際』第三号(二〇一七年)五二一六四頁

○監修・序・解題

- ・マーク・マゾワー(井上廣美訳)『バルカン——ヨーロッパの火薬庫』の歴史(中央公論新社、二〇一七年)序ii—iv頁、解題二六三—二七八頁

○コメント

- ・「近代史部会」人々の実践と生活世界の変容の報告へのコメント2『歴史学研究』増刊号no. 九六三(二〇一七年一〇月)二二—二四頁

○研究会

・「二〇一七年度歴史学研究会総会・大会」「近代史部会」コメント

於：学習院大学 二〇一七年五月二八日

・「ギリシアにおける難民の現状」「中東・ヨーロッパ諸国間の国際政策協調と移民／難民の移動に関する研究会」於：東京大学駒場キャンパス 二〇一七年二月二〇日

○調査活動

・平成二九年度井上記念研究助成「近代ギリシア世界におけるヘレニズム―メガリ・イデアとギリシア人アイデンティティ」研究代表者

学会活動

白山史学会、日本西洋史学会、史学会、日本中東学会、日本政治学会、地中海学会、東欧史研究会、歴史学研究会

教育活動

○学内 史料研究、西洋史学特講、西洋史学演習、西洋史学卒論演習（以上、学部）西洋史学演習Ⅳ、西洋史学特論Ⅳ、文献研究（以上、大学院）

スロベニア・リュブリャナ大学短期海外研修引率
（二〇一七年二月―三月）

○学外 東京外国語大学（非常勤講師）「世界のことは―現代ギリシア語」

社会的活動

○講師

・危機のヨーロッパ 第三回「ギリシア危機とギリシア政治」NPO 法人かわさき市民アカデミー 二〇一七年四月二四日 於：川崎市生涯学習プラザ

・地中海世界の歴史3近世・近代編「バルカン・ナシヨナリズムの覚醒とオスマン帝国からのギリシアの独立」NPO 法人かわさき市民アカデミー 二〇一七年七月七日 於：川崎市生涯学習プラザ

・地中海世界の歴史4近代・現代篇「第一次世界大戦前後の地中海」（二〇一七年一〇月二七日）、「第二次世界大戦後の東地中海と米ソ冷戦」（二〇一七年一月二四日）NPO 法人かわさき市民アカデミー 於：川崎市生涯学習プラザ

○講演

・「ヨーロッパの端からみえるヨーロッパ」青森県高等学校教育研究会地理歴史公民科部会 於：三沢高等学校（青森県三沢市）、二〇一七年八月一七日

大学・学部・管理活動

入試委員、ハラスメント防止対策委員、ホームページ委員

植野 真澄 助教

研究活動

○論文

・「戦後70年」から見た日本の援護行政と戦争被害者問題の戦後史」「社会事業史研究」五一・二〇一七年三月

○史料紹介等

- ・植野真澄「解説」『空襲被災者運動関連資料目録3』（大岡聡、植野真澄、山辺昌彦、赤澤史朗、松田英里）、政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター戦争災害研究室、二〇一七年二月

・「二〇一六年度の博物館実習Ⅱ（学内実習と館務実習）」『東洋大学博物館学年報』二九、二〇一七年三月

○学会報告

- ・「実態調査にみる傷痍軍人の戦後史―大阪府傷痍軍人会旧蔵資料が伝えるもの―」社会事業史学会第四五回大会自由論題報告（長野大学）、二〇一七年五月一三日

○調査活動

- ・「近代日本の傷痍軍人の実態に関する歴史学的基礎研究」科研費若手研究（B）、研究代表者
- ・「戦後都市社会における空襲被災者運動の歴史学的研究」科研費基盤研究（C）、研究分担者

学会活動

白山史学会、社会事業史学会、同時代史学会、軍事史学会、日本史研究会、史学会（いずれも会員）

教育活動

（学内）博物館資料論、博物館展示論、博物館実習Ⅱ、日本史学演習、歴史学入門

（学外）（日本映画大学）博物館概論、博物館展示論

大学・学部管理・運営活動

東洋大学井上円了記念博物館運営委員会委員

二〇一七年度文学部史学科講義題目

歴史学入門

日本史概説―A 日本近世社会の成立と構造

B 日本近世社会の展開と解体―

東洋史概説―A 近代東アジア地域史の展開

B 二十世紀東アジア地域史の展開―

西洋史概説―A・B 近現代ヨーロッパ史と知的潮流―

歴史学研究法①―A・B 歴史学研究の方法―

同 ②―A 史料・文献に親しむ

B 歴史学の文献に親しむ―

同 ③―A 歴史学への招待及び日本近世古文書史料の解読

B 日本近世古文書史料の解読―

同 ⑤―A・B 歴史学研究入門（東洋史、中国前近代史）…中国史の研究手法―

同 ⑥―A 歴史学とはどのような学問なのか、その基礎的方法を学ぼう

B 歴史学を研究する上でどのように史料を扱えば良いのか、基礎から学んでみよう―

教授 千葉 正史

同 ⑦―A レポートを書いてみる

B 英語で調べる―

教授 高畠 純夫

同 ⑧―A・B 歴史学（西洋中世学）研究入門 ―歴史学とはどのような学問か―

助教 植野 真澄

教授 白川部 達夫

教授 千葉 正史

教授 村田 奈々子

教授 森 公章

教授 神田 千里

教授 白川部 達夫

准教授 西村 陽子

日本史史料研究①—A・B 日本古代史の史料読解方法を学ぶ—

同 ②—A・B 中世史料・論文を読む—

同 ③—A・B 近世村落文書を読む—

同 ④—A・B 日本近現代史史料の講読—

東洋史史料研究①—A・B アラビア語史料の英訳の講読—

同 ②—A 中国史の研究史と研究法の基礎学習

B 中国史関連文献史料の基礎学習—

西洋史史料研究①—A・B アテナイ法廷弁論の世界—

同 ②—A・B 中世ヨーロッパの史料を読み、考え、理解する—

同 ③—A 近現代ヨーロッパ史に関する論文を読み、史料の特徴を理解し、論文の中での史料の役割を考

える

B 近代ヨーロッパの史料を読み、考え、理解する—

史学概論—歴史を学び、研究し、記述すること—

日本史学卒論演習①—日本古代史の研究方法—

同 ②—日本中世史の諸問題—

同 ③—近世史の諸問題—

同 ④—日本近現代史の卒論作成指導—

同 ⑤—日本近現代史の卒論作成—

教授 鈴木道也

教授 森公章

教授 神田千里

教授 白川部達夫

教授 大豆生田稔

講師(兼) 柴山滋

教授 千葉正史

教授 高畠純夫

教授 鈴木道也

教授 鈴木道也

教授 村田奈々子

准教授 後藤はる美

教授 鈴木道也

教授 森公章

教授 神田千里

教授 白川部達夫

教授 千葉正史

教授 大豆生田稔

同	⑥	—幕末維新史（討幕派・佐幕派、その他、党派を問わず）および近世・近代の国際関係史および政治史、画像史料、文化史等の研究—	教 授	岩 下 哲 典
東洋史学卒論演習①	①	中国前近代史卒論作成—	准教授	西 村 陽 子
同	②	—東アジア近世・近現代史の卒論作成指導—	教 授	千 葉 正 史
同	③	—アジア史の諸問題—	講師（兼）	栗 山 保 之
西洋史学卒論演習①	①	西洋古代史卒業論文作成—	教 授	高 畠 純 夫
同	②	—中世ヨーロッパ史の卒論を書くために—	教 授	鈴 木 道 也
同	③	—ヨーロッパ近現代史研究—	教 授	村 田 奈 々 子
同	④	—ヨーロッパ近世史専攻のための卒論作成法—	准教授	後 藤 はる 美
日本史学演習①	①	A・B『日本書紀』舒明紀の講読—	講師（兼）	酒 寄 雅 志
同	②	A・B 撰関期・院政期の史料を読む—	講師（兼）	有 富 純 也
同	③	A・B『吾妻鏡』講読—	講師（兼）	高 橋 典 幸
同	④	A・B 十四—十六世紀日本・琉球の対外関係—	講師（兼）	中 島 敬
同	⑤	A・B 江戸の町触をよむ—	講師（兼）	松 本 剣 志 郎
同	⑥	A・B 近世日本の宗教史—	講師（兼）	松 野 聡 子
同	⑦	A・B 近現代日本の史料を読み活用する—	講師（兼）	中 村 崇 高
同	⑧	A・B 昭和陸軍の軌跡—	講師（兼）	渡 辺 新
同	⑨	A・B 近代日本の政治と社会を読み解く力を育む—	講師（兼）	内 藤 一 成
同	⑩	A・B 近世—近代のくずし字史料の読解—	講師（兼）	井 奥 成 彦

同 ①—近現代日本史に関する史料調査の方法の修得と実践—

東洋史学演習①—A・B 南アジア史の特質—

同 ②

同 ③—A・B 中国古代史研究に必要な漢文史料読解の方法を学ぶ—

同 ④—A・B 『旧唐書』本紀の講読—

同 ⑤

同 ⑥—A 後期アッバース朝時代的情勢

B 後期アッバース朝時代の展開の考察—

西洋史学演習①—A・B 初期ハスモン朝の研究—

同 ②—A 英語で読む古代ローマ史（共和政）

B 英語で読む古代ローマ史（帝政）—

同 ③—A ビザンツの政治と社会

B 十字軍の歴史と歴史叙述

同 ④—A・B 歴史と社会理論…P. バークを読む—

同 ⑤—A・B 近世ヨーロッパ史演習—

同 ⑥—A 近代世界システムとイギリス

B 十八世紀のイギリスにおける民衆文化—

同 ⑦—A・B ヨーロッパの二十世紀—

助教 植野真澄

講師（兼） 石川寛

本年 年度 休講

講師（兼） 鈴木直美
准教授 西村陽子

本年 年度 休講

講師（兼） 柴山滋

講師（兼） 三津間康幸

講師（兼） 松原俊文

講師（兼） 都甲裕文

講師（兼） 猪刈由紀

講師（兼） 坂野正則

講師（兼） 正木慶介

教授 村田奈々子

日本史学特講①—A・B 古墳時代の日朝関係史—海の向こうからみた倭国—

講師(兼) 高田 貫太

同 ②—A・B 古代日本の国際交流を考える—入唐僧・入宋僧を通して—

講師(兼) 酒 寄 雅 志

同 ③—A・B 平安時代史研究—

講師(兼) 有 富 純 也

同 ④—A 戦国時代の「日本国」と地域権力・動乱

B 天下一統の時代へ—

講師(兼) 柴 裕 之

同 ⑤—A

講師(兼) 細 川 重 男

B

講師(兼) 西 田 友 広

同 ⑥—A 城下町論

B 近世都市論—

講師(兼) 松 本 剣志郎

同 ⑦—A・B 日本近世の村・地域社会—

講師(兼) 山 崎 圭

同 ⑧—A・B 近現代日本の経済史—

教 授 大 豆 生 田 稔

同 ⑨—A・B 知識人・社会学者から戦時・戦後を読み解く—

講師(兼) 渡 辺 新

東洋史学特講①

本 年 度 休 講

同 ②—A・B アジアにおける訴訟の比較史—一三世紀中国の訴訟社会を基点として—

講師(兼) 石 川 重 雄

同 ③—A 宋代軍事制度の問題

講師(兼) 大 室 智 人

B 北宋の軍制改革と防衛体制の強化—

講師(兼) 石 橋 崇 雄

同 ④—A・B 中国の伝統・ユーラシアやヨーロッパとの関わり・天朝などの多角的視点から清朝の国家構造

講師(兼) 石 橋 崇 雄

について学びます—

講師(兼) 石 橋 崇 雄

同 ⑤

同 ⑥

同 ⑦—A・B 海から見たイスラーム史—

西洋史学特講①—A 新アッシリア帝国からハカーマニシュ朝時代にかけての西アジア史

B アレクサンドロスからアルシヤク朝時代にかけての西アジア史—

同 ②—A 史料を通してみるローマ史（キケローの法廷弁論）

B 史料を通してみるローマ史（プルタルコス『対比列伝』）—

同 ③—A ビザンツ史入門

B 十字軍史入門

同 ④—A M. Luther and the Reformation

B The Impact of the Reformation in Europe: toward the History of the Reformations—

同 ⑤—A 近世（十六—十八世紀）フランスの社会と文化

B 近現代ギリシア史の諸問題—

同 ⑥—A British political culture in the 'long' eighteenth century

B British political culture in the Victorian era—

同 ⑦—A・B 中央ヨーロッパから見る二十世紀の歴史—

古文書学Ⅰ A・B —古代・中世の古文書の様式を学ぶ—

古文書学Ⅱ A・B —江戸時代の村落古文書の構造を知る。実際の古文書を読む。—

講師（兼）本年度休講
栗山保之

講師（兼）三津間康幸

講師（兼）井上秀太郎

講師（兼）都甲裕文

講師（兼）猪刈由紀

講師（兼）坂野正則

教授 村田奈々子

講師（兼）正木慶介

講師（兼）篠原琢

講師（兼）池田美千子

講師（兼）斉藤司

法制史（日本） A・B―植民地における法と慣習―

法制史（東洋） A―伝統中国法の発達とその特徴―

B―近代中国周辺地域における西洋近代法と伝統中国法の対立―

法制史（西洋） A―ヨーロッパにおける法の誕生と発展

B―ヨーロッパ近代法体系の確立―

考古学研究 A・B―日本考古学を学ぶ―

自然誌 A①―水の自然誌―自然・環境・生命・文明のかかわり―

自然誌 B①―水の自然誌―水の関わる自然現象と人類の利用について―

自然誌 A②―動植物の自然誌―

自然誌 B②―日本列島の自然誌―

自然誌 A③―水の自然誌―自然・環境・生命・文明のかかわり―

自然誌 B③―水の自然誌―水の関わる自然現象と文明―

博物館概論（秋学期）―博物館の歴史・法律・職員・役割―

博物館学各論

博物館資料論（春学期）

博物館展示論（秋学期）

博物館実習Ⅰ①―文献・民俗資料の取扱と模擬展示―

博物館実習Ⅰ②

博物館実習Ⅰ③―考古資料を中心とした歴史資料の整理実習―

講師（兼）後藤武秀

講師（兼）後藤武秀

講師（兼）周圓

講師（兼）田中英司

講師（兼）清田佳美

講師（兼）金子有子

講師（兼）瀧景子

教授 岩下哲典

本年 年度 休講

助教 植野真澄

助教 植野真澄

講師（兼）龍澤潤

本年 年度 休講

講師（兼）久野雅司

博物館実習Ⅰ④

博物館実習Ⅱ（春学期）

博物館資料保存論（秋学期）―資料修復・保存の基本―

卒業論文

本年度休講
助教 植野真澄
講師（兼）土肥孝
教授 千葉正史

二〇一七年度大学院文学研究科史学専攻講義題目

〔博士前期課程〕

日本史学特論Ⅰ―日本古代史の諸問題―

日本史学特論ⅠA・B―日本古代史の諸問題―

日本史学特論Ⅱ―織田政権論の現在と課題―

日本史学特論ⅡA・B―織田政権論の現在と課題―

日本史学特論Ⅲ―日本近世の民衆と権力―

日本史学特論ⅢA・B―日本近世の民衆と権力―

日本史学特論Ⅳ―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究―

日本史学特論ⅣA―幕末日本の情報―

日本史学特論ⅣB―幕末日本の政治―

日本史学特論Ⅴ―日本近現代史の諸問題―

日本史学特論ⅤA・B―日本近現代史の諸問題―

日本史学演習Ⅰ―日本古代史の基本史料を読む―

教授 森 公章
教授 森 公章
教授 神田 千里
教授 神田 千里
教授 白川部 達夫
教授 白川部 達夫
教授 岩下 哲典
教授 岩下 哲典
教授 岩下 哲典
教授 大豆生田 稔
教授 大豆生田 稔
教授 大豆生田 稔
教授 森 公章

日本史学演習ⅠA・B―日本古代史の基本史料を読む―	教授	森 公章
日本史学演習Ⅱ―中世の記録を読む―	教授	神 田 千 里
日本史学演習ⅡA・B―中世の記録を読む―	教授	神 田 千 里
日本史学演習Ⅲ―近世の国家と社会―	教授	白川部 達 夫
日本史学演習ⅢA・B―近世の国家と社会―	教授	白川部 達 夫
日本史学演習Ⅳ―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究―	教授	岩 下 哲 典
日本史学演習ⅣA・B―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究―	教授	岩 下 哲 典
日本史学演習Ⅴ―日本近現代史研究―	教授	大豆生田 稔
日本史学演習ⅤA・B―日本近現代史研究―	教授	大豆生田 稔
東洋史学特論Ⅰ―中国唐代史料の講読―	准教授	西 村 陽 子
東洋史学特論ⅠA・B―中国唐代史料の講読・検討―	准教授	西 村 陽 子
東洋史学特論Ⅱ―近代交通体系の形成と中国国家統合の変容―	教授	千 葉 正 史
東洋史学特論ⅡA―中国専制国家統合と交通体系近代化―	教授	千 葉 正 史
東洋史学特論ⅡB―近代交通体系の形成と中国国家統合の変容―	教授	千 葉 正 史
東洋史学特論Ⅲ	本	年 度 休 講
東洋史学演習Ⅰ―中国唐代諸史料の検討―	准教授	西 村 陽 子
東洋史学特論ⅠA・B―中国唐代諸史料の検討―	准教授	西 村 陽 子
東洋史学特論Ⅱ―清末中国における近代化過程の検討―	教授	千 葉 正 史
東洋史学特論ⅡA・B―清末中国における近代化過程の検討―	教授	千 葉 正 史

東洋史学特論Ⅲ

西洋史学特論Ⅰ―古代ギリシア・ローマ史研究―

西洋史学特論ⅠA・B―古代ギリシア・ローマ史研究―

西洋史学特論Ⅱ―中近世ヨーロッパ研究の「古典」を読み直す―

西洋史学特論ⅡA・B―中近世ヨーロッパ研究の「古典」を読み直す―

西洋史学特論Ⅲ―ヨーロッパ近世・近代史の歴史叙述―

西洋史学特論ⅢA・B―ヨーロッパ近世・近代史の歴史叙述―

西洋史学特論ⅣA・B―ヨーロッパ近世・近代史の歴史叙述―

西洋史学演習Ⅰ―古代ギリシア史料研究―

西洋史学演習ⅠA・B―古代ギリシア史料研究―

西洋史学演習Ⅱ―中近世ヨーロッパ史研究指導―

西洋史学演習ⅡA・B―中近世ヨーロッパ史研究方法論―

西洋史学演習Ⅲ―近世ヨーロッパの諸問題―

西洋史学演習ⅢA・B―近世ヨーロッパの諸問題―

西洋史学演習ⅣA・B―近代史の諸問題―

考古学特論―日本考古学の諸問題―

考古学特論A・B―日本考古学の諸問題―

文献研究（日本）

文献研究（東洋）―（前期授業）東アジア近代史の文献を読む（後期授業）東アジアの思想史文献を読む。―

本年度休講

教授 高 畠 純 夫

教授 高 畠 純 夫

教授 鈴 木 道 也

教授 鈴 木 道 也

准教授 後 藤 はる美

准教授 後 藤 はる美

教授 村 田 奈々子

教授 高 畠 純 夫

教授 高 畠 純 夫

教授 鈴 木 道 也

教授 鈴 木 道 也

准教授 後 藤 はる美

准教授 後 藤 はる美

教授 村 田 奈々子

講師（兼）土 肥 孝

講師（兼）土 肥 孝

本年度休講

文献研究（東洋）A—東アジア近代史の文献を読む

B—東アジア史の文献を読む—

講師（兼）趙景達

文献研究（西洋）—Reading Historical Sources from Ancient to Modern Times—

講師（兼）趙景達

教授 高畠純夫

教授 鈴木道也

教授 村田奈々子

文献研究（西洋）A・B—Reading Historical Sources from Ancient to Modern Times—

教授 高畠純夫

教授 鈴木道也

教授 村田奈々子

史料管理学

国文学研究資料館における研修
（集中講義形式）

日本史学研究指導Ⅰ—日本古代史を専攻する者に対する修士論文作成のための研究指導— 教授 森公章

日本史学研究指導ⅠA・B—日本古代史を専攻する者に対する修士論文作成のための研究指導—

教授 森公章

日本史学研究指導Ⅱ—日本中世史の諸問題—

教授 神田千里

日本史学研究指導ⅡA・B—日本中世史の諸問題—

教授 神田千里

日本史学研究指導Ⅲ—近世の国家と社会—

教授 白川部達夫

日本史学研究指導ⅢA・B—近世の国家と社会—

教授 白川部達夫

日本史学研究指導Ⅳ―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究―	教授	岩下哲典
日本史学研究指導ⅣA・B―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究―	教授	岩下哲典
日本史学研究指導Ⅴ―日本近現代史研究―	教授	大豆生田稔
日本史学研究指導ⅤA・B―日本近現代史研究―	教授	大豆生田稔
東洋史学研究指導Ⅰ―修士論文作成に向けて―	准教授	西村陽子
東洋史学研究指導ⅠA・B―修士論文作成に向けて―	准教授	西村陽子
東洋史学研究指導Ⅱ―東洋史学研究指導―	教授	千葉正史
東洋史学研究指導ⅡA・B―東洋史学研究指導―	教授	千葉正史
東洋史学研究指導Ⅲ	教授	本年度休講
西洋史学研究指導Ⅰ―西洋古代史研究指導―	教授	高畠純夫
西洋史学研究指導ⅠA・B―西洋古代史研究指導―	教授	高畠純夫
西洋史学研究指導Ⅱ―中近世ヨーロッパ史研究指導―	教授	鈴木道也
西洋史学研究指導ⅡA・B―中近世ヨーロッパ史研究指導―	教授	鈴木道也
西洋史学研究指導Ⅲ―近世ヨーロッパの諸問題―	准教授	後藤はる美
西洋史学研究指導ⅢA・B―近世ヨーロッパの諸問題―	准教授	後藤はる美
西洋史学研究指導Ⅲ―近現代史の諸問題―	教授	村田奈々子
西洋史学研究指導ⅢA・B―近現代史の諸問題―	教授	村田奈々子

〔博士後期課程〕

日本史学特殊研究Ⅰ―日本古代史の基本史料を読む―	教授	森 公章
日本史学特殊研究ⅠA・B―日本古代史の基本史料を読む―	教授	森 公章
日本史学特殊研究Ⅱ―中世の記録を読む―	教授	神 田 千里
日本史学特殊研究ⅡA・B―中世の記録を読む―	教授	神 田 千里
日本史学特殊研究Ⅲ―近世の国家と社会―	教授	白川部 達夫
日本史学特殊研究ⅢA・B―近世の国家と社会―	教授	白川部 達夫
日本史学特殊研究Ⅳ―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究―	教授	岩 下 哲 典
日本史学特殊研究ⅣA・B―近世・近代の対外関係および幕末維新期の史料研究―	教授	岩 下 哲 典
日本史学特殊研究Ⅴ―日本近現代史研究―	教授	大豆生田 稔
日本史学特殊研究ⅤA・B―日本近現代史研究―	教授	大豆生田 稔
東洋史学特殊研究Ⅰ―中国唐代諸史料の検討―	准教授	西 村 陽 子
東洋史学特殊研究ⅠA・B―中国唐代諸史料の検討―	准教授	西 村 陽 子
東洋史学特殊研究Ⅱ―清末中国における近代化過程の検討―	教授	千 葉 正 史
東洋史学特殊研究ⅡA・B―清末中国における近代化過程の検討―	教授	千 葉 正 史
東洋史学特殊研究Ⅲ	本	年 度 休 講
西洋史学特殊研究Ⅰ―古代ギリシア史料研究―	教授	高 畠 純 夫
西洋史学特殊研究ⅠA・B―古代ギリシア史料研究―	教授	高 畠 純 夫

西洋史学特殊研究Ⅱ―中近世ヨーロッパ史研究方法論―

西洋史学特殊研究Ⅱ A・B―中近世ヨーロッパ史研究方法論―

西洋史学特殊研究Ⅲ

西洋史学特殊研究Ⅳ A・B―近現代史の諸問題―

日本史学研究指導Ⅰ―日本古代史を専攻する者に対する博士論文作成のための研究指導―

日本史学研究指導Ⅰ A・B―

日本古代史を専攻する者に対する博士論文作成のための研究指導―

日本史学研究指導Ⅱ―日本中世史の諸問題―

日本史学研究指導Ⅱ A・B―日本中世史の諸問題―

日本史学研究指導Ⅲ―近世の国家と社会―

日本史学研究指導Ⅲ A・B―近世の国家と社会―

日本史学研究指導Ⅳ―近世・近代の对外関係および幕末維新期の史料研究―

日本史学特殊研究Ⅳ A・B―近世・近代の对外関係および幕末維新期の史料研究―

日本史学研究指導Ⅴ―日本近現代史研究―

日本史学研究指導Ⅴ A・B―日本近現代史研究―

東洋史学研究指導Ⅰ

東洋史学研究指導Ⅰ A・B

東洋史学研究指導Ⅱ―東洋史学研究指導―

東洋史学研究指導Ⅱ A・B―東洋史学研究指導―

教授 鈴木道也

教授 鈴木道也

本年度休講

教授 村田奈々子

教授 森 公章

教授 森 公章

教授 神田 千里

教授 神田 千里

教授 白川部 達夫

教授 白川部 達夫

教授 岩下 哲典

教授 岩下 哲典

教授 大豆生田 稔

教授 大豆生田 稔

准教授 西村 陽子

准教授 西村 陽子

教授 千葉 正史

教授 千葉 正史

教授 千葉 正史

東洋史学研究指導Ⅲ

西洋史学研究指導Ⅰ—西洋古代史研究指導—

西洋史学研究指導ⅠA・B—西洋古代史研究指導—

西洋史学研究指導Ⅱ—中近世ヨーロッパ史研究指導—

西洋史学研究指導ⅡA・B—中近世ヨーロッパ史研究方法論—

西洋史学研究指導Ⅲ

西洋史学研究指導ⅣA・B—近代史の諸問題—

本年度休講

教授 高 畠 純 夫

教授 高 畠 純 夫

教授 高 畠 純 夫

教授 鈴木 道 也

教授 鈴木 道 也

教授 村 田 奈 々 子

執筆者紹介

森 公章 文学部教授

白川部達夫 文学部教授

岩下 哲典 文学部教授

大豆生田稔 文学部教授

千葉 正史 文学部教授

高畠 純夫 文学部教授

鈴木 道也 文学部教授

東洋大学文学部紀要 第71集

史学科篇第43号

二〇一八年二月二四日 印刷
二〇一八年二月二八日 発行 [非売品]

編集者 東洋大学文学部史学科研究室

発行所 東 洋 大 学

制作 共立印刷株式会社
東京都文京区白山五―二八―二〇

東京都杉並区和田一―一四―二三